

2018 基礎研修 I

事務連絡

平成 30 年 5 月 5 日

会 員 各 位

一般社団法人 愛媛県社会福祉士会  
会 長 大 西 亮 輔  
( 公 印 略 )

## 平成 30 年度 基礎研修 I 開催のご案内について

新緑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

認定社会福祉士制度がはじまったことで、本会の生涯研修制度も大きく改正され、基礎研修も新基礎研修 I・II・III と段階を踏んでの研修になりました。今年度も別紙の要領にて実施しますのでご案内いたします。

基礎研修 I は、社会福祉士としての自覚を促すとともに、実践の基礎となる価値・知識・技術について理解することを目的としております。

また、今後の成年後見養成研修等さらにグレードアップしていく研修の基礎としても位置付けされております。

是非、皆様のご参加を賜りますよう御願ひ申し上げます。

 愛媛県社会福祉士会

《 事務局 》

〒790-0905 愛媛県松山市樽味 2 丁目 2-3  
ラ・マドレーヌビル 2F

TEL (089) 948-8031 FAX (089) 948-8032

MAIL [eacsw@mbr.nifty.com](mailto:eacsw@mbr.nifty.com)

URL <http://ehime-acsw.com/>

## 2018 年度 基礎研修 I 募集要領 ■

## ○ 基礎研修とは

社会福祉士として必要な基礎知識を3年間かけて行っていく入り口の研修で、その後の専門研修の受講や認定社会福祉士資格を取得するためには欠かせない研修です。

1年目の基礎研修 I は会の歴史や本研修制度、倫理綱領や共通基盤となる知識や技術等について自己学習・レポート・集合研修という形を通じて学んでいきます。

## ○ ねらい

社会福祉士としての自覚を促すとともに実践の基礎となる、価値・知識・技術について理解する。

## ○ 到達点

1. 専門職が職能団体を持つ意義を知る
2. 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る
3. 生涯研修制度を知る
4. 社会福祉士共通基盤を知る
5. 実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る
6. 実践を踏まえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範を持つ意味を知る

## ○ 研修内容

## 1. 事前課題 レポート提出2本

## &lt;生涯研修制度独自科目 事前課題1&gt;

## 「社会福祉士の役割を考える」(1,200字程度)

(内容)

[生涯研修手帳]を読み、生涯研修制度の概略を理解したうえで、社会福祉士としての専門性について、あなたの考えをまとめ「生涯研修制度を通じてどのように研鑽を進めるか」をレポートにまとめてください。

## &lt;ソーシャルワーク理論系科目 I 事前課題1&gt;

## 「社会福祉士としての専門性について考える」(800字程度)

(内容)

「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を読み、倫理綱領・行動規範をふまえて、あなたが社会福祉士として大切にしたいことについて、レポートにまとめてください。

※事前課題の提出をもって集合研修1の受講を認めます。

※締切 平成30年8月31日(金)

## 2. 集合研修(第1回目)

講義及び演習 6時間

「社会福祉士のあゆみ」「日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織」「生涯研修制度」「社会福祉士としての専門性について考える」

## 3. 中間課題 レポート提出 4 本

## &lt; ソーシャルワーク理論系科目 I 事前課題 2 &gt;

「社会福祉士に共通する専門性の理解」(1,200 字程度)

(内容)

「基礎研修テキスト」上巻の P1～P25 「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながら、レポートにまとめてください。

## &lt; ソーシャルワーク理論系科目 I 事前課題 3 &gt;

「所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ」(1,200 字程度)

(内容)

所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察したうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題についてレポートにまとめてください。

## &lt; ソーシャルワーク理論系科目 I 事前課題 4 &gt;

「所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ」1 箇所 1,200 字程度 ※2 箇所以上

(内容)

他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所（独立型社会福祉士事務所を含む）で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察しレポートにまとめてください。

※取り上げた実践現場については、訪問前に位置づけなどを調べておいてください。

※1 施設（事業所）につき、1,200 字程度でまとめてください。

## &lt; 権利擁護・法学系科目 I 事前課題 1 &gt;

「倫理綱領・行動規範の理解」1 項目 1,200 程度 ※2 項目

(内容)

あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士行動規範」と照らし合わせ、2つの項目を取り上げ、あなたの実践を「社会福祉士行動規範」1 項目につき 1,200 字程度で考察しレポートにまとめてください。(1,200×2 項目)

※締切 平成 31 年 1 月 31 日 (木)

## 4. 集合研修 (2 回目)

講義及び演習 6 時間

「社会福祉士に共通する専門性の理解」「倫理綱領・行動規範の理解」「社会福祉士の倫理綱領の実践適用」

## ※第 1 回及び第 2 回集合研修開催日時

		時 間	会 場
第 1 回目	9 月 16 日 (日)	10 時～17 時	聖カタリナ大学
第 2 回目	2 月 16 日 (土)	10 時～17 時	聖カタリナ大学

受付は 30 分前から開始します。

(第 1 回集合研修の詳細は、受講通知書にてご案内します)

(第 2 回集合研修の詳細は、第 1 回集合研修時にご案内します)

## ○ 年間スケジュール（平成 30 年度）

4月～6月	7月	8月	9月	10月～12月	1月	2月	3月
	申込締切 (7/20) 受講通知書 発行 (7月末)	事前課題 締切 (8/31)	第1回 集合 研修 (9/16)		中間課題 締切 (1/31)	第2回 集合 研修(2/16)	

## ○ 受講要件

社会福祉士資格を有するもの

## ○ 参加費用等

・参加費用：(社)日本社会福祉士会会員 9,000 円 非会員 19,000 円  
(基礎研修テキスト上巻・下巻、ワークブック代込み)

○ 申込締日 平成 30 年 7 月 20 日 (金) 必着

## ○ 定員 30 名

## ○ 参加申込要領

参加申込みは別添受講申込書に必要事項をご記入の上、郵送・FAX・メールでの申込と、同日迄の入金(参加費用+テキスト代金)で参加申込受理と致します

振込先：伊予銀行 本店営業部 普通口座 4754329

いっばんしゃだんほうじん えひめけんしゃかいふくししかい だいひょうりじ おおにしりょうすけ  
一般社団法人愛媛県社会福祉士会 代表理事 大西 亮輔

## ○ 受講通知書

受講可否は、申込締め切り後に決定し通知します。通知書発送は7月下旬を予定しております。

## ○ 修了基準

1. すべての科目を受講で修了とします
2. 15分以上の遅刻・早退・欠席は認めません
3. 遅刻・早退・欠席した科目は、次年度開催時に受講することで修了とします

## ○ 研修時にご持参いただくもの

受講通知書・筆記用具

テキスト 『基礎研修テキスト』上巻、下巻・基礎研修 I ワークブック

※受講決定通知とともに郵送させていただきます。

## ○ レポート提出について

締切 事前課題 平成 30 年 8 月 31 日 (金), 中間課題 平成 30 年 1 月 31 日 (木)

## 【提出方法】

原則文書作成ソフト「ワード」で作成し、メールで事務局へ提出をお願いします  
(ネット環境等パソコン利用にない受講者は、郵送も可。FAX 不可)